

# 北から南から

## 「私の近況」 森 宏之（普通科17期生：青森大学 総合経営学部 教授 Ph.D.）

1974(昭和49)年に東住吉高校を卒業後、私は同じクラスのK君と共に現役で早稲田大学に入学しました。翌年には同学年のMさんも入学してきましたので、当時の早稲田大には東住吉出身の17期生が3人いましたが、最近の東住吉の進学先は関西の大学ばかりだと聞いていますので、大変寂しいですね。私にとって、早稲田での大学生活は、人生で一番得るものが多かっただけに、ぜひ後輩の皆さんも東京の大学にも進学して欲しいと思います。

大学卒業後は金融関係の企業に就職し、東京・大阪・名古屋・広島の各地で勤務後、金融工学の研究の為に大学院へ進学して、国立や私立の3つの大学院で学んで研究者の道に進みました。現在は青森大学の総合経営学部の教授として、専門の金融や経済学を教えながら、企業や社会人向けの講演や官庁やNPO関係の仕事もしています。青森大学には東北出身の学生が多いですが、私の教え子には北海道や沖縄、大阪の高校出身者もいます。

身者もいます。

青森は豪雪地帯で、大阪で育った私は冬の雪に最初戸惑いましたが、三方を海に囲まれて山や湖等の自然も豊かで、世界遺産の縄文遺跡もあり、近くに温泉も多く、慣れると住みやすい所です。何かと慌ただしい大阪とは違って、今は自然環境の豊かな青森のスローライフにも慣れて楽しんでます。

東住吉の3年間を振り返ると、勉強はあまりしなかったけれど、面白い仲間のいる学校でした。50年近く経った今でも、大阪に帰った時には高校の友人達と共に楽しい時間を過ごしています。



青森大学で日本財務管理学会の全国大会を主催した時のもの

## 「めざせ自給自足」 岡本 美奈（普通科34期生）

34期生の岡本美奈です。2008(平成20)年から2019(令和元年)まで阿倍野区でトルコ人の夫と共に地中海料理店を営んでいましたが、慌ただしく過ぎる都会で



お店でのスナップ

の日々にも疲れ、ずっと憧れだった南の島への移住を決意しました。

現在、沖永良部島で南の島生活を満喫中です。沖永良部島は鹿児島県なのですが、沖縄本島に程近く農業が盛んで、親切的な人々がたくさん暮らしている島です。



お店の前のガジュマルの樹

ご縁があり、大きなガジュマルが鎮座する店舗兼住宅をお借りして古民家レストランを営んでいます。

敷地内にある畑では、ハーブや野菜を無農薬栽培しているのですが、畑初心者なのでまだまだ思ったような収穫は難しいです。でも冬の間は、お店でも提供出来る程ハーブがよく育ってくれます。



夫とともに

庭にはアセロラ、バナナ、グアバ、パパイア、島みかんやアテモヤ等のフルーツの木が季節毎に花を咲かせ実を付けてくれるので、季節の巡りが楽しくて仕方がありません。

特に、朝目覚めた時に目に入る窓の外の緑に癒されて一日が始まるのが今一番の幸せかもしれません。

もし沖永良部島に来島される機会があれば、「うちゅま〜Kitchen」に遊びにいらして下さいね。